

令和5年12月14日

本地連区防災訓練

(本地連区3地区での防災訓練・瀬戸市民総ぐるみ防災訓練)

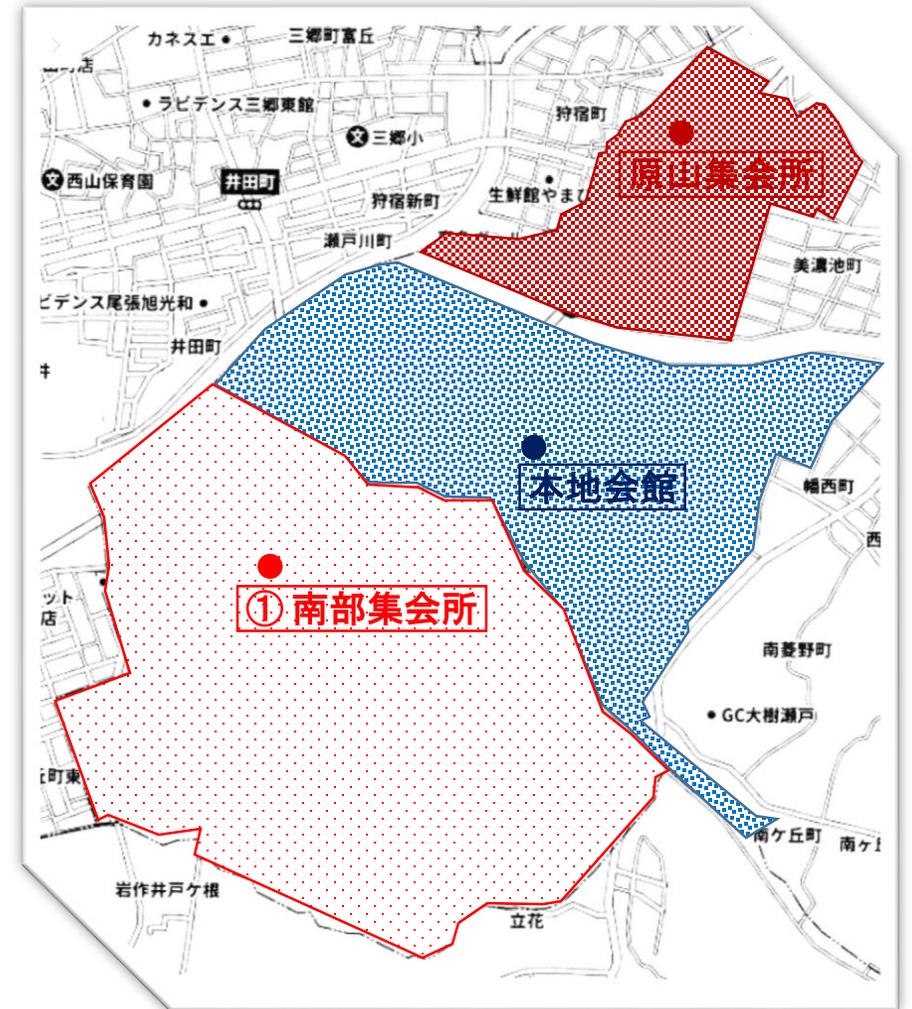


本地連区自治会

本地連区を3地区に分けての防災訓練

本地連区では、毎年町内会長・組長が変わり、現状の年1回の防災訓練だけでは、いざ災害が発生した場合に心配な面もあり、本地独自の防災訓練をとの考えで、平成29年度から11月の瀬戸市民総ぐるみ防災訓練の前に、数多く訓練を経験させたいとの思いで、本地連区を3地区に分け小規模の防災訓練を実施しています。

- ① 南部集会所 (7町内: 720世帯)
(山の田町、坊金町北・南、坂上町西・東、井戸金町、小坂町)
- ② 本地会館 (4町内: 209世帯)
(東本地町1~3丁目、駒前町、西本地町1・2丁目)
- ③ 原山集会所 (4町内: 568世帯)
(西原町1・2丁目、高根町1~3丁目)



防災リーダー研修会

過去は防災リーダーとしての研修会でしたが、3地区での防災訓練を実施することになり、防災リーダーに地区の責任者として自立及び指導者となってもらうために、現状は開催しています。

- ・開催日：令和5年7月13日(木)19:00～21:00
- ・場 所：瀬戸市消防署 南分署
- ・参加者：15人
- ・講師：幡山消防分団

研修内容：

- ① 水消火器を使用した初期消火訓練
- ② 簡易タンカによる緊急救出・応急処置訓練
- ③ AEDを使用しての操作訓練



初期消火訓練



緊急救出・応急処置訓練



AED操作訓練

本地連区自治会防災関連配布物

1. 防災マップ

- 各町内毎に作成して「組集合場所、一時集合場所、危険個所、消火器設置場所、井戸等」を記載



2. 本地の防災ファイル

- 防災手順書及び非常時持出品チェックリスト

3. 本地連区震災時避難計画

- 「地震があったら、報告伝達事項、緊急避難所、平常心の心得」を掲載

4. 災害時安否確認タオル

- 「無事です」タオル

以上、4点を全戸配布してあります。



非常時持出品チェックリスト

準備しておきたい非常時持出品

用意をしたら チェックしましょう。

<input type="checkbox"/> 懐中電灯 電池は切れていませんか？ 予備の電池もお忘れなく。	<input type="checkbox"/> ラジオ 電池は切れていませんか？ 予備の電池もお忘れなく。
<input type="checkbox"/> ろうそく・ライター マッチもお忘れなく。 必ず着火するが時を試してください。	<input type="checkbox"/> 飲料水 1日約3リットル が必要です。
<input type="checkbox"/> 緊急医薬品 病気の方がいる場合はその薬も、 赤ちゃんがいる場合はミルクなどもお忘れなく。	<input type="checkbox"/> 非常食 賞味期限のチェックはお忘れなく。
<input type="checkbox"/> 現金・貴重品 いざというときに持ち出せるように、 保管場所を決めておきましょう。	<input type="checkbox"/> ビニール袋 (大) 防湿や防臭トイレ にも役立ちます。
<input type="checkbox"/> ティッシュ	<input type="checkbox"/> 子供用ミルク・ ほ乳瓶・紙おむつ
<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 軍手
<input type="checkbox"/> 介護用品	<input type="checkbox"/> その他

必要に応じて準備しておきましょう

非常時持出品袋
などは、
いつでも
持ち出せる
場所に保管して
おきましょう。

本地連区震災時避難計画

2019.9

地震があったら (避難計画)

家の内外で立ってられないほど (震度5弱以上) の大きな地震があったとき、まず自分の命を守る行動をとってください。揺れが収まったのちに**火の始末、出口を確保し、家族の安否を確認**する。大丈夫であれば「**安否確認タオル**」を玄関口に掲げ、そして組集合場所に集まってください。(被害の有無に関係なく、家族のうち一人だけでも組集合場所に出向いてください。) 組集合場所では、組長または組長から委託された方がリーダーとなり、集まった人で手分けして地域の要避難支援者の避難支援にあたり、組世帯の安否確認と、地震の被害状況を調査し、救助が必要な人がいないか確認します。もし組域で火災発生や救助が必要な人がいる場合は、組内で組織を編成し消火救助活動に当たってください。**119通報**も行ってください。

そして調査結果をいっき集合場所へ報告してください。

いっき集合場所では、町内会長またはその代行者が町内全組域の安否、被害状況の報告を受け、その結果を本地連区自治会へ電話報告してください。電話が不通の場合は、本地会館もしくは緊急避難場所へ伝令してください。さらに**自宅・組域に留まることに危険を感じている人全員**を引率して緊急避難場所 (権山西小学校グラウンドもしくは、聖カピタニオ女子高等学校運動場) へ徒歩で向かってください。

地震

家庭
自分の身を守る行動
揺れが治まったら、火の始末・出口確保
家族の安否確認→安否確認タオル掲出
組集合場所へ集まる

組集合場所
地域の要避難支援者の避難支援
組世帯の安否確認、被害状況調査
消化救助活動
集めた情報をいっき集合場所へ伝達
避難する人は、いっき集合場所へ向かう
(自宅安否確認タオル取り外し、
電源ブレーカー切断、非常持ち出し袋持参)

いっき集合場所
町内全組域の安否と被害状況を集める→自治会または緊急避難場所へ報告
組織の消化救助活動があれば人的応援手配
自宅・組域に危険を感じている人全員で緊急避難場所へ向かう

緊急避難場所
(権山西小学校グラウンドもしくは
聖カピタニオ女子高等学校運動場)
緊急避難所
(権山西小学校体育館)

各町内の安否状況と被害状況を集計する
緊急避難所 (体育館) の安全点検
緊急避難所の開設運営

本地地域力向上委員会・本地連区自治会

本地連区3地区での防災訓練

① 南部集会所(避難場所を想定)

・令和5年8月27日(日) 8:00～10:30

・参加者:70人(町内会長、組長、防災リーダー、防火防災委員)

② 本地会館(避難場所を想定)

・令和5年9月7日(日) 8:00～10:30

・参加者:40人(町内会長、組長、防災リーダー、防火防災委員)

③ 原山集会所(避難場所を想定)

・令和5年10月1日(日) 8:00～10:30

・参加者:47人(町内会長、組長、防災リーダー、防火防災委員)

訓練内容:

- ・第一部:シェイクアウト、家の中の家族の安否確認、地震後の建物・設備確認、組集合場所・一時集合場所への集合・安否確認訓練
- ・第二部:初期消火訓練、緊急救出・応急処置訓練、AED操作訓練



南部集会所 初期消火訓練



本地会館 AED操作訓練



原山集会所 緊急救出訓練

安否確認タオルを掲げた家の事例



災害時 無事を伝える 安否確認用タオル

災害時、ベランダやドアなどに、このタオルを掛けるだけで、安否確認が迅速に行えるようになります。ご家庭で掲げる場所を決めて、近くに保管しておきましょう！



表面(熨斗紙名入れ可)



裏面



本地連区3地区での防災訓練結果

開催場所	① 全世帯数	② 安否札を 掲出した世帯	③ 安否札 未掲出世帯 (①-②)	④ 未掲出世帯のう ち、声掛け安否 確認ができた世帯	⑤ 安否確認 完了世帯 (②-④)	安否割合 (⑤/①)
南部集会所	671	401	270	143	544	81.1%
本地会館	205	144	61	31	175	85.4%
原山集会所	479	341	138	77	418	87.3%
合計	1,355	886	469	251	1,137	83.9%

※ 今年度から瀬戸市の方針で、安否札未掲出世帯について声掛け安否確認を実施した結果、
②安否札掲出世帯:60%程度に対して、⑤安否確認完了世帯:80%以上となり、声掛け確認
の重要性が大事であることを認識しました。

令和5年度「瀬戸市民総ぐるみ防災訓練」

開催日 令和5年11月19日(日) 8:00~11:00

1、安否確認訓練

- ・シェイクアウト、家の中の家族の安否確認、地震後の建物・設備確認、
- ・組集合場所・一時集合場所への集合 ⇒ 災害情報伝達票へ記入して報告

2、避難行動支援訓練

- ・避難所までの避難ルートの決定・要介護者の支援

<第二部>

1、徒歩避難訓練(遠い地区は車を使用)

- ・町内会長、組長、防災リーダー、防火防災委員が幡山西小学校に集合

2、災害情報伝達訓練

- ・災害情報を集計し、その結果を対策本部に報告

3、避難所開設・運営訓練

- ・幡山西小学校の体育館で、避難所開設では運営用配置図を作成し、避難所開設訓練を実施
- ・防災倉庫の場所等を確認、保管してある「間仕切り・パーソナルテント(トイレ用)・ダンボールベッド」の作成、発電機の試運転を実施
- ・アルファ米の炊き出し訓練を実施し、参加者に配布

瀬戸市民総ぐるみ防災訓練 本地連区自治会結果報告

開催場所	① 全世帯数	② 安否札を掲出した世帯数	③ 安否札未掲出世帯 (①-②)	④ 未掲出世帯のうち、声掛け安否確認ができた世帯	⑤ 安否確認 (③-④)	安否割合 (⑤/①)
せと市民総ぐるみ 防災訓練	1,351	839	512	271	1,110	82.2%
本地3地区 防災訓練	1,355	886	469	251	1,137	83.9%
増減	▲4	▲47	43	20	▲27	▲1.7%

- ・③安否札確認世帯が、3地区での実施結果より減少した。
▲47世帯 安否札掲出率(②/①) 62.1%(▲3.3%「3地区:65.4%」)
※ 3地区防災訓練では、合図の代わりに青パトを使用して町内を巡回した。
- ・声掛け確認を実施した結果、最終所在不明世帯(③-④)が3地区での実施結果より増加した。
+23世帯 不明世帯率:17.8%(+1.7%「3地区:16.1%」)



防災訓練は必要であり、継続することが大事である

瀬戸市民総ぐるみ防災訓練を終えて

《良かった事》

- ・事前に3地区に分けての防災訓練を実施しているため、声掛け確認・集計がスムーズに進んだ。
- ・安否札未掲出世帯に対して、声掛け安否確認をした結果、安否確認率が20%程度上昇したので、声掛け確認重要であることを認識した。
- ・炊き出し訓練・発電機の運転・防災倉庫内の「間仕切り・パーソナルテント（トイレ用）・ダンボールベッド」の作成、発電機の試運転ができ、参加者から初めて見たとの声もあり、実施して良かった。

《今後の課題》

- ・避難所開設訓練は、幡山消防分団・防災リーダーの経験がなく、避難所の図面・記入帳票を使用していたため、避難所開設について指導者となる講習会が必要だと思った。
- ・本地地区は、消防分団のサイレンが聞こえないため、他に合図の方法はないのか？



終わり